

## Chair As New Necessities Of Life “FOUR”

# ワーキングチェアの機能を美しい意匠で叶えた 美しく経年変化する椅子「FOUR (フォー) チェア」に より居住空間に配慮した新仕様が登場



写真左はキャスター仕様、右はグライダーレグ仕様（キャスター無し固定タイプ）となります。

株式会社カンディハウス（北海道旭川市／代表取締役社長 染谷哲義）は、インテリア販売を行う株式会社アクタス（東京都新宿区／代表取締役社長 休山昭）と共同で、倉本仁氏をデザイナーに起用し、オフィスだけでなくプライベートな住環境に溶け込む佇まいと機能性をもったワーキングチェア「FOUR (フォー)」を昨年2022年4月に発売しました。発売以来大変ご好評いただいている「FOUR チェア」に、この度、食事用に使いやすく、より住空間での利用にフィットするグライダーレグ仕様（キャスター無し固定タイプ）を追加。3月より正式発売いたします。

製品名：FOUR (フォー) チェア GL

価格：¥220,000 (税込) ～

販売：カンディハウスならびにアクタスの販売網を通じて2023年3月発売予定

### 当プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カンディハウス デザイン企画本部 中田・尾田

Tel 0166-47-9967 Fax 0166-49-2225 E-mail [kikaku@condehouse.co.jp](mailto:kikaku@condehouse.co.jp)

## 美しさと機能性の融合点を見出した椅子としてのひとつの答えが“FOUR”



FOUR チェアー GL 樹種・塗装：北海道タモMBR フレーム：S-BL 張地：BQ-BL

### 「FOUR チェアー」の開発コンセプトと背景

「FOUR チェアー」は、コロナ禍での在宅ワークが定着する中、自宅で仕事用に使う椅子の重要性について、生活者の気づきが顕在化したことに端を発しています。オフィスで使うワークチェアやエグゼクティブチェアには機能性やデザインの優れたものが数多くありますが、在宅ワークの主な場所である家庭のリビングダイニングにさりげなく溶け込み、食事用としてもそのまま使える椅子はこれまでほとんど存在しませんでした。この「FOUR チェアー」は、ダイニングチェアとして『長時間座っても疲れない』、デスクチェアとして『家庭内で場所を取らない』『インテリアに馴染む』などのユーザーの要求を顕在化しました。開発を担当したカンディハウスとアクタス、デザイナーの倉本仁氏、そして技術監修のkokoroの4者の知見が、繊細な意匠の中に結集しています。

この度、ダイニングルームなど、より住空間での利用を考慮したグライダーレッグ仕様（キャスター無し固定タイプ）を追加し、カンディハウス、アクタスの販売網にて3月より正式発売いたします。

#### FOUR チェアー GL

【樹種・塗装】北海道タモ WNF / MBR / BL

【フレームカラー】S-BL（サテンブラック仕上げ）

C-SL（クロームメッキシルバー仕上げ）

【サイズ】巾735 奥735 高740（830）座高395（485）肘高615（705）

※（）の数値は昇降機能による最高時のサイズです。昇降機能・ロッキング機能付き

【価格】S-BL：ファブリック ￥220,000（200,000）

レザー ￥242,000（220,000）

C-SL：ファブリック ￥242,000（220,000）

レザー ￥264,000（240,000）

※（）は税抜き価格です。



グライダー底面は床を傷めないようポリウレタン仕様となっております。

「FOUR チェアー」が、2022年度グッドデザイン賞に続き、公益社団法人日本工業デザイン協会による「JIDAデザインミュージアムセレクション vol.24」に選定されました。



「JIDAデザインミュージアムセレクション」は、「美しく豊かな生活を目指して」をテーマに、工業デザインが社会に寄与する質の高い製品を選定し表彰するとともに、その製品を収集・保管して次世代に伝え、教育・産業・生活へ文化的貢献を行うことを目的としています。今回24回目となるJIDAデザインミュージアムセレクションにおいて優れた製品54点のひとつとして「FOUR チェアー」が選定商品として認定されました。

#### ■審査員コメント

コロナ禍を契機に在宅ワークが増えたことから、オフィスにも家庭にも順応できる「ちょうどよい」を目指した椅子である。製品の完成度、佇まいの凛とした姿はグッドデザイン運動の根源である「生活の質向上」をまさに体現したものと言えるが、特筆したいのは開発の座組である。FOURの開発には技術サポートとして、競合他社ともいえるコクヨが参画している。グッドデザインの思想は垣根すら超えるのであろうか。実に素晴らしい。

〈審査委員 / 蘆澤 雄亮〉

※JIDAデザインミュージアム WEBサイト：<http://jida-museum.jp/>

#### 当プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社カンディハウス デザイン企画本部 中田・尾田

Tel 0166-47-9967 Fax 0166-49-2225 E-mail [kikaku@condehouse.co.jp](mailto:kikaku@condehouse.co.jp)